

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学 DP	学科 DP	学習成果
情報と社会	笠 浩一郎	講義	2		4	4	3
授業概要 授業目的	講義は、以下の三つの内容で構成されている。一つ目は、情報倫理・リテラシに関することである。近年、ICT の発達により誰もが簡単に情報を取得・発信できる社会になっている。その一方で、個人情報流出、ネット上での誹謗中傷などの新たな問題が発生している。他人の権利を侵すことなく、互いが快適に過ごすための方法を解説する。二つ目は、言語処理技術に関することである。近年、言語処理技術を活用したシステムは身近に利用できる状況にあり、そのシステムの仕組みを紹介する。三つ目は、情報処理システムに関することである。情報処理システムの開発・管理の仕組みを紹介する。						
到達目標	本講義は、現在の情報社会で求められる「情報に関する知識」と「情報倫理」を習得することを到達目標とする。						
回	学習内容						
1	インターネット概論						
2	ネットワーク利用におけるマナー						
3	個人情報とプライバシー						
4	電子商取引						
5	知的財産権・メディアリテラシ						
6	ネットワーク不法行為						
7	情報技術とセキュリティ						
8	情報倫理とリテラシ						
9	言語処理技術（文字コード、形態素解析）						
10	言語処理技術（構文解析、意味解析）						
11	言語処理技術を用いたシステム（機械翻訳）						
12	言語処理技術を用いたシステム（対話システム、情報検索）						
13	システム開発とマネジメント						
14	システム構成と故障対策						
15	業務改善と分析手法						
予習内容 復習内容	授業の最後に次回の講義の内容の一部を紹介するので、予習してくること。ほぼ毎回前回の復習の小テストを実施するので、復習しておくように。						
教科書	資料を毎回配布する。参考文献は講義内で紹介する。						
成績評価	毎回の小テスト（100%）						
実務経験	なし						
その他 特記事項	なし						